

### 油断せず避難せよ

大地震の後には津波に備えて、できるだけ早く高い所に避難することが大事です。このことは安政南海地震に関する碑にも記されています。徳島県美波町と高知県土佐清水市の碑をご紹介します。

#### ■木岐王子神社の石灯籠 (徳島県美波町)

安政元年 (1854) 11 月 4 日午後 2 時頃地震があり、津波に備えて人々は裏山で一夜を過ごしました。何事もなかったので人々は話し合い 5 日昼頃までにわが家に戻ったところ、その日の午後 4 時頃大地震が起こり、その直後に大山のような津波が押し寄せて、人々は急いで山へ逃げ上がりました。この津波により、木岐浦では 203 軒のうち 190 軒が流失し、11 人が犠牲になったと伝えられています。木岐王子神社の石灯籠には、大地震の後、1 時間のうちに津波が三度入り込み、4 丈 (12m) 余の津波により家屋や神社が流失したことが記され、大地震の際には油断せぬよう伝えています。<由岐町史編纂委員会編「由岐町史下巻」1994 年、木岐王子神社の石灯籠の碑文など>



木岐王子神社の石灯籠



#### ■三崎十字橋の碑 (高知県土佐清水市)

安政元年 (1854) 11 月 5 日午後 4 時過ぎ大地震が起こり、強烈な震動が約 10 分間続いた後、津波がやって来ました。下川口では、津波は 3 回来ましたが、2 回目が特に大きかったそうです。目撃した人によると、津波は寄せる時は徐々に来て烈しくありませんでしたが、退く時には勢いすこぶる猛烈を極めたといいます。地震の後には津波が来ることをみんな予知していて、ただちに高所に避難しました。かつて旧三崎川にかかっていた三崎浦の十字橋付近には、安政地震に関する石碑があります。これは十字橋が廃されて久しくただ石標だけ残されていたものを、昭和 51 年に三崎郷土史の会が再興したものです。この碑には、大地震が起こるや否や津波が来るので、火を消して家を出ることが第一と記されています。<田村非水編「下川口村誌復刻版」1985 年、三崎十字橋の碑文など>



三崎十字橋の碑

